

平成30年度 法人本部事業総括

理事活動について

超高齢化社会へ向けて福祉事業がさまざまな影響を受けるであろうことを想起し社会福祉事業にかかわるものの責任として施設運営への影響と利用者への影響の両面で理解を深める必要があると提起しました。

情報の伝達についてはホームページへの掲載と各理事による直接の閲覧という形を前進させましたがこの件で具体的に理事からの問い合わせや事務局からの閲覧の確認といったことはなされなかったため成果として確認するには至っていない。形式としては一定整ってきているので31年度での運用の改善に期待したい。

各種講演会への理事の出席や理事会としての勉強会の開催などは掛け声もかからずじまいでほとんど具体化できなかった。大きな反省点である。

施設運営について理事が理解を深めるという点では施設行事への理事の積極的参加が多くみられるようになった。あすなろの家参観会、施設夏祭り、納涼祭、バザー、風の子保育園の入卒園式など、すべての理事がすべての行事とまではならないが多くの理事が努力をしてくれている。行事に参加した結果が理事会運営にどう生かされているかという点では不十分さは残るが、討議の底流として見聞したものが生かされていると信じる。

施設運営についての責任については施設担当理事からの報告とそれにもとづく質疑が適切に行われてきた。また監事による施設監査の報告も適切に理事長に上がってきており、理事会として特段の改善すべき事項はない

理事会運営について

理事会は年間計画に基づいて開催され、各理事の出席についても適切にご出席いただき適切に審議が行われた。

地域懇談会について

2年目となる今回は内容も災害発生時の課題についての渡嘉敷さんの講演と各施設からの報告と意見交換の前後半に内容を分けて開催した。災害発生時の課題については時宜に合った内容でもあるのでそれなりに関心は持っていただけたと思うが、時間的には両方とも中途半端に終わって、物足りなかった感がある。31年度開催時には内容をよく検討する必要がある。

職員研修について

新入職員研修は一回開かれたが内容は従来の踏襲で結果として事前の検討などは行われなかった。現在の内容が悪いということではないが修正するにしても現行通りであるにしてもいちど検討を加えることが良いのではないか。

情報発信について

法人だよりは 30 年度も定期的に 4 回発行され 1 号発行以来 4 年を経過した。

あすなろ福祉会の特性を表す広報誌として定着してきたと感じる。

今後については配布先を広げるなど福祉情報の発信範囲を広げること視野に内容の一段の向上を図りたい。

ホームページについていえば外部の人が検索してあすなろのホームページを閲覧する場合に何を求めて閲覧に来ているかという視点でみると、依然として不十分さが感じられるという指摘をくりかえしているが今期も改善にまで至らなかった。

インターネット環境のあり理事への情報配信についての切り替えは進みつつあり、環境が整いつつある。